

平成 27 年 11 月 10 日

各 位

デンカ株式会社

先進農業技術を用いた栽培システム販売事業参入のお知らせ

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：吉高 紳介、以下当社）は、農業関連事業のさらなる強化、拡大施策の一環として、このたび、先進農業技術を用いた栽培システムの販売事業参入を決定しましたのでお知らせいたします。

当社は、1915 年（大正 4 年）の創業より 100 年にわたる肥料の生産販売を通じて、農業と関わり続けてまいりました。現在、次の 100 年へ向けた農業関連事業の領域拡大に取り組むなか、先進農業技術を用いた栽培システム（＝フィルム農法[®]（アイメック[®]）、以下本栽培システム）の販売事業を通じ、日本の多様な気候における肥料事業で培った経験と長年にわたる製品開発のノウハウを活かして、農地の有効活用を目指した新たな農業事業を開始いたします。

本栽培システムは、メビオール株式会社（本社：神奈川県平塚市、代表取締役社長：森 有一、以下メビオール社）によって開発されたハイドロゲル膜（親水性高分子フィルム、『アイメック[®]フィルム』）の上に、作物を植えて育てる世界初の技術です。一般的な土耕栽培や水耕栽培に比べて、農薬の使用量を抑制でき、生育のばらつきが少なく管理が簡便で、構造的に水と肥料を保持し易くその使用量を低減できるなどの環境に優しい特長があります。また、本栽培システムを導入した当社提携先のトマト農園においては、収穫されたトマトが高糖度になる実証データを取得しており、トマトを購入されたお客様からも高い評価をいただいております。

当社は、メビオール社との間で本栽培システムに関する業務提携契約を締結し、2015 年 11 月より販売を開始いたします。本栽培システムの導入・運営に必要な資材を提供するとともに、根張りや発根促進、作物の生育向上に優れた効果を発揮する当社独自技術の液体肥料・植物活性剤を適用することで、本栽培システムの価値向上を図ってまいります。

当社は、経営計画「Denka100」の成長戦略の一つに「成長ドライバーへの資源集中と次世代製品開発」を挙げています。その取り組みの一つとして、次世代の農業生産技術と液体肥料や植物活性剤などの関連資材を提供することで、地球規模の気候変動や環境保全などの社会課題に向き合い、農産物の生産拡大を通じて社会の発展に貢献してまいります。

※『フィルム農法[®]』『アイメック[®]』は、メビオール株式会社の登録商標です。

以 上

【製品に関するお問合せ先】

アグリプロダクツ部 TEL：03-5290-5555

【本発表に関するお問合せ先】

CSR・広報室 TEL：03-5290-5511

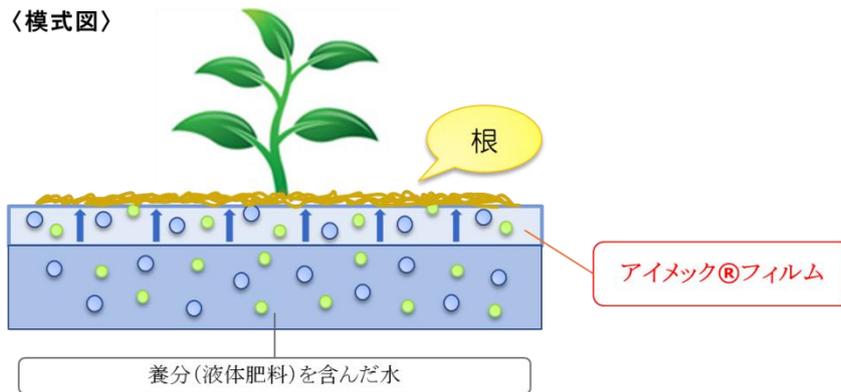
Denka

(ご参考)

①フィルム農法® (アイメック®) とは

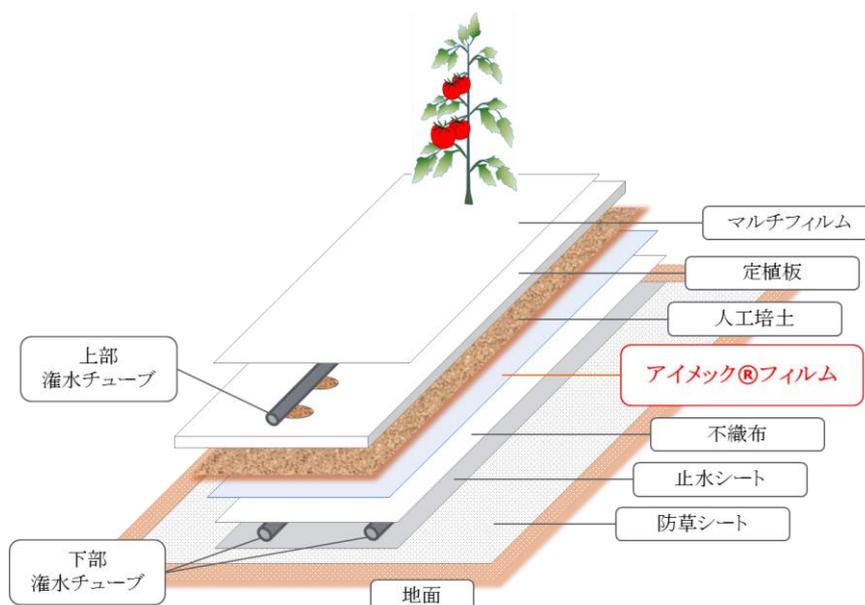
フィルム農法®は、食の安全性、水不足や土壌汚染等の深刻な問題に対処するために開発されたハイドロゲル膜（親水性高分子フィルム、『アイメック®フィルム』）を用いた世界初の技術です。

このハイドロゲルでできた薄いフィルムは、その下部に供給された養液（養分を含んだ水）をフィルム上部へ少しずつ通します。そのときに、作物は細かい根を大量に発生させ、微量の養液を求めてフィルムにしっかりと吸着します。その結果、作物が沢山の糖分やアミノ酸などを生成し、高糖度と高栄養価が得られると考えられています。



②フィルム農法® (アイメック®) の仕組み

フィルム農法®は、止水シート上に灌水チューブと不織布を置き、その上に『アイメック®フィルム』を敷いて作物を植えるというシンプルな仕組みです。土を使わないためどのような場所でもできるうえ、養液を外部に出さないため、水と肥料の使用量を大きく節約できる、環境に優しい農法です。



※「フィルム農法®」「アイメック®」は、メビオール株式会社の登録商標です。

以上